

| Healthcare

TOPIC | カイノス特集

Denka × K KAINOS

両社のチャネルと技術の活用によりシナジーを最大化

当社は、ヘルスケア領域における事業基盤強化と持続的な成長を実現するため、1975年創業の臨床検査薬メーカーであり、生化学・免疫検査試薬を中心に独自性の高い製品群を展開しているカイノス社に対する公開買付け(TOB)を実施しました。臨床検査薬分野に強みを持つ同社との連携により、研究開発力の強化から販売体制の拡充まで一体的な価値創造を推進します。本特集では、本件の戦略的意義と期待されるシナジーについてご紹介します。

両社の主な事業と診断項目

		デンカ	カイノス	
臨床 試薬	生化学	コレステロール	腎・肝機能	糖尿病
	免疫	CRP・アレルギー	輸血	腫瘍マーカー
検査 キット	抗原	インフルエンザ コロナウイルスなど	コロナウイルス ノロウイルスなど	
	遺伝子			
		検査項目:補完的		

01 | 背景と目的

外部環境と
戦略的課題国内臨床検査薬メーカーが生き残るためには
国際競争力を向上させる必要がある

日本の臨床検査薬メーカーは総じて高い技術力を有する一方、売上規模が比較的小さい企業が多くあります。加えて、国内市場の成熟化や、少子化による需要縮小等により、事業環境は厳しさを増しています。当社は、こうした構造的課題に対し、国内臨床検査薬企業間の連携・統合による競争力強化が不可欠であると位置付けています。

カイノスの位置づけと
戦略的意義・アライアンス形成のフロントランナーとなる第一歩
・高い補完関係にある両社の事業拡大

本件は、当社の臨床検査薬事業における成長領域拡張およびポートフォリオ強化を目的とした戦略投資です。カイノス社は、生化学・免疫・遺伝子・輸血検査など、多様な検査領域において、医療現場ニーズを捉えた独創的な製品開発を行っています。また、当社とカイノスは臨床検査薬の区分上は同一の領域で事業を展開していますが、検査項目レベルでは補完関係にあり、当アライアンスによるシナジー創出が期待されます。

02 | 出資スキーム

- ・本件にあたり、当社はカイノス株式取得を目的とするFlowers株式会社を設立し、TOBを実行。
- ・取得資金の一部は株式会社日本政策投資銀行(DBJ)の優先株出資を活用しており、本案件は当社およびカイノス双方の競争力強化ならびに国内臨床検査薬の供給力強化に資するものとして評価



Healthcare

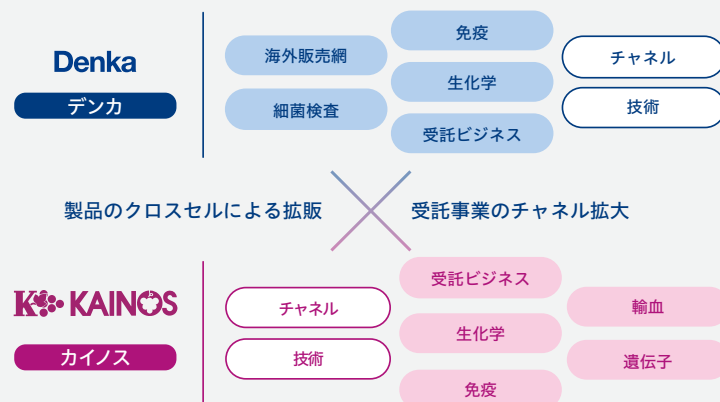
TOPIC | カイノス特集

03 | 期待されるシナジー

販売シナジー

当社とカイノス社は、それぞれ異なる検査項目の臨床検査薬を有しており、製品ラインアップに補完性があります。これにより、相互に製品を提案できるようになり、提案力の向上と販売拡大が期待されます。あわせて、受託事業においても、双方の顧客基盤や販売チャネルの活用により、販路の広がりが見込まれます。

また、当社の海外販売ネットワークを活用することで、カイノス社製品の海外市場への展開も期待されます。



コストシナジー

両社は営業・物流・研究等の拠点に重複が多く、この重複を生かした合理化がシナジーとして期待されます。原材料の共同調達によりスケールメリットと調達力の強化が可能であるほか、物流機能の連携や営業拠点間での情報共有、研究開発の最適化を通じて、効率化とコスト削減、さらには開発スピードの向上につながります。

また、生産拠点については分散配置の特性を生かし、相互補完によりBCP(事業継続計画)を強化することで、供給の安定性向上も見込まれます。

- ★カイノス生産拠点
- ★デンカ生産拠点
- カイノス営業拠点
- デンカ営業拠点

04 | シナジー最大化に向けた
取り組みの進捗

現在、シナジー創出効果が高い領域や、早期対応が重要な領域から優先的に協力を開始、推進しています。両社の強みを活かし、双方の組織力強化を図ることで、価値創造の早期実現につなげてまいります。

05 | 今後の価値創造に向けて

本件は、国内臨床検査薬業界の競争力強化および供給基盤の安定化に資する戦略的取り組みであり、ライフノベーション事業の成長戦略の中核を担うものです。今後は、両社の協力体制を一層深め、研究開発・生産・販売等の効果的な運営を通じて、事業基盤の強化と競争優位性の確立を図ります。これらの取り組みにより、シナジー創出の早期顕在化と収益力の向上を実現し、持続的な企業価値の向上につなげていきます。



(写真左) デンカ(株) 石田 郁雄 代表取締役社長
(写真右) (株)カイノス 長津 行宏 代表取締役社長